

守山まるごと活性化プラン検討委員会
第4回 学区別会議（河西学区）

日時：平成25年9月25日（水）

19：00～20：30

場所：河西会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
 - 本日の進め方
 - 第3回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
 - 前回のふりかえり
 - 学区のまちづくりの取り組みを考える
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など

守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 河西学区 】

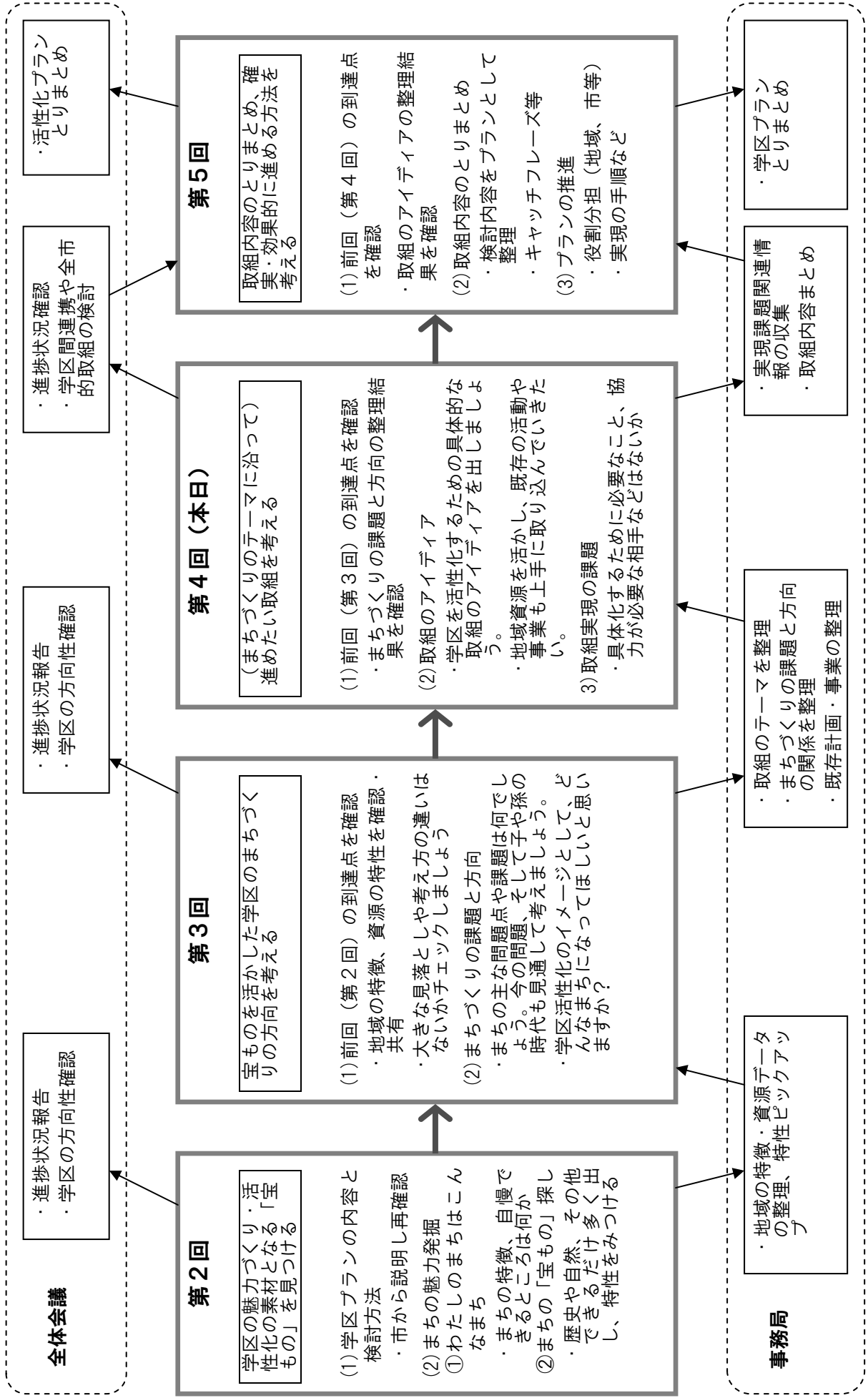
H250725 現在 敬称略

No.	自治会	名前	
1	小島	島田 恭司	しまだ きょうじ
2	小島	北川 作治	きたがわ さくじ
3	播磨田	北村 光明	きたむら みつあき
4	播磨田	北村 実	きたむら みのる
5	播磨田	望月 香奈恵	もちづき かなえ
6	今市	大内 順一	おおうち じゅんいち
7	今市	河村 眞一	かわむら しんいち
8	布施野	小林 茂	こばやし しげる
9	布施野	竹林 義彦	たけばやし よしひこ
10	荒見	里内 勝	さとうち まさる
11	荒見	石原 和成	いしはら かずなり
12	川中	高野 隆男	たかの たかお
13	川中	岡田 頼光	おかだ よりみつ
14	川中	岡田 美代子	おかだ みよこ
15	笠原	若井 博之	わかい ひろゆき
16	笠原	津田 徹	つだ とおる
17	中	内田 俊治	うちだ しゅんじ
18	中	内田 豊	うちだ ゆたか
19	田中	小原 敬治	こはら けいじ
20	田中	平尾 茂一	ひらお しげかず
21	川辺	茶谷 富雄	ちやや とみお
22	川辺	茶谷 勉	ちやや つとむ
23	阿比留	梅森 嘉高	とがもり よしたか
24	阿比留	倉田 一祐	くらた かずたか
25	阿比留	神谷 昭夫	かみや あきお
26	川田	中北 平夫	なかきた たかお
27	川田	中田 康男	なかた やすお
28	喜多	片山 武	かたやま たけし
29	喜多	北村 優	きたむら まさる
30	河西ニュータウン	近土 邦雄	こんど くにお
31	河西ニュータウン	沖田 修作	おきた しゅうさく
32	河西ニュータウン	浅田 紀代子	あさだ きよこ
33	河西ハイム	山川 喜一郎	やまかわ きいちろう
34	河西ハイム	西尾 由利子	にしお ゆりこ
35	ラーナー守山	岸本 貢	きしもと みつぐ
36	ラーナー守山	塚田 一彦	つかだ かずひこ

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・北野正広 ・川嶋利明 ・中野俊彦
- ・坪内稔夫 ・足立慎也
- ・田淵誠一 ・山田 憲 ・義浦慶子 ・小野田敦 ・倉嶋祐介

学区別会議の進め方



守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第3回 学区別会議 【河西学区】

平成 25 年 8 月 28 日（水）午後 7 時から河西会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 3 回学区別会議を開催しました。

河西学区にお住まいの住民 25 名に、滋賀県立大学の濱崎先生や学生さんも加わり、まず、前回会議で出された意見について、大きな見落としがないかなどふりかえりをしました。次に、学区のまちづくりを進めていく上での課題や方向性について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：高野学区長より
- ②内容説明：会議当日のプログラム内容、第 2 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、
『学区のまちづくりの課題と方向』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲結果を発表してみんなで共有

テーブル毎に河西学区の『まちづくりの課題と方向』について話し合いました

- 5つのテーブルに分かれ、前回会議で出された河西学区の『良いところ』や『たからもの』の確認を行い、さらに、それらの特徴をもとに、『学区のまちづくりの課題』を話し合いました。
- 『たからもの』としては、「秋の集い、住民の集い」「キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、花畑、菜の花、あじさい、コスモス」「旧堤防、湧水」などの追加がありました。また、『たからもの地図』については、神事は農業の豊穰等を願うものが多いことから、「寺社仏閣」と「地域の特色ある農業」の関係性を追加をしました。
- 『まちづくりの課題』については、「人口増減の地域差・少子高齢化により、地域間でバランスが崩れている」があげられ、それに伴う「地域活動や行事の担い手・人材が不足」「新旧住民・世代間の交流が希薄化」という内容が多く上げられました。また、「妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分」といった意見も出されました。
- 『今後のまちづくりの方向性』としては、「近江妙蓮を活用したはす祭りイベントの実施」「遺跡のまちとして遺跡をPR」「担い手不足解消のために、行事や自治会活動の負担を減らす」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が出されました。



■滋賀県立大学 濱崎先生のコメント

高齢化がここまで課題として上がってくると思わなかった。湖北の限界集落のように空や家率が5割を越えると、高齢化どころの話ではなく、地域で空き民家をどう活かすかという取り組みを検討し始めている。
河西学区でも高齢化が大きな課題ということであるが、みなさん前向きに今後自分たちで何ができるかを検討されている。今後の活性化の議論にどのように結びついていくのか楽しみにしている。

■お問い合わせ

守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL: 079-582-1162 e-mail: miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp

守山まるごと活性化計画 河西学区 第3回会議

1. 実施概要

学区・回	河西学区 第3回
日時	2013年8月28日(水) 19:00~20:40
会場	河西会館
参加者	住民25人(小島1人、播磨田2人、今市2人、布施野2人、荒見1人、川中2人、笠原0人、中1人、田中2人、川辺2人、阿比留2人、川田1人、喜多1人、川西ニュータウン3人、河西ハイム1人、ラフィーネ守山2人) 濱崎先生、県立大学生1人 守山市(北野、川嶋、中野、坪内、吉原、足立) 地域未来研究所(田淵、山田、義浦、貞松、横山)
会場設営	5テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席。
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(高野学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。 ・「交流の取り組み」の項目では、秋の集い、住民の集いの追加があった。 ・「豊かな自然」の項目では、キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、花畑、菜の花、あじさい、コスモスといった動植物の追加があった。 ・「水にまつわる歴史と文化」の項目では、旧堤防、湧水の追加があった。 ・「地域の特色ある農業」の項目では、家庭菜園の追加があった。 ・「神社仏閣」の項目では、八大神社の追加があった。 ・「地元が生んだ人的資源」の項目では、お笑いタレント、子どもの笑い声の追加があった。また、「一流歌手」を「プロ歌手」に修正した。 ・「河西学区のたからもの」地図において、神事は農業の豊穰等を願うものが多いことから、「神社仏閣」と「地域の特色ある農業」の関係性を追加した。また、「祭り・行事」と「健康やスポーツ」のたからもの地図での配置を入れ替えて、

わかりやすくした。

②学区のまちづくりの課題と方向

- ・学区が抱える問題点や課題については、各テーブルとも共通して少子・高齢化に関連した意見（地域間のバランスが崩れる、地域活動や行事の担い手・人材が不足、自治会活動に支障がでる等）が多くだされた。
- ・課題のカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。

4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表が地域の課題、課題に対応するための方針について検討結果を発表。
- ・主な課題としては、「人口増減の地域差・少子高齢化により、地域間でバランスが崩れている」、それに伴う「地域活動や行事の担い手・人材が不足」「新旧住民・世代間の交流が希薄化」があげられた。また「妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分」といった課題もあげられた。
- ・今後のまちづくりの方向として、「近江妙蓮を活用したはす祭りイベントの実施」「遺跡のまちとして遺跡をPR」「行事の担い手不足解消のために、負担を減らす」「狭い道路の解消のために、家を建て直す場合など市として方向性を示す」などの意見が出された。

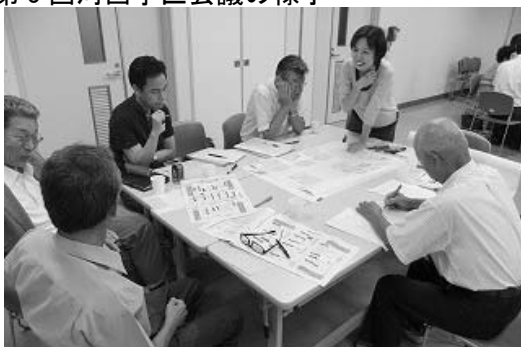
5. コメント（濱崎先生）

- ・河西学区で高齢化がここまで課題として上がってくると思わなかった。湖北の限界集落では、空や家率が5割を越え、高齢化どころではなく、地域で空き民家をどう活かすかという取り組みをしている。
- ・河西学区でも高齢化が大きな課題ということであるが、みなさん前向きに今後自分たちで何ができるかを検討されている。今後の活性化の議論にどのように結びついていくのか楽しみにしている。

6. その他

- ・次回会議の開催日時は、9月25日（水）19:00～20:30、河西会館にて開催。

第3回河西学区会議の様子



2. 第3回学区会議の意見まとめ

地区のまちづくりの課題や方向性をまとめた。

<河西学区のまちづくりの課題>

■人口増減の地域差・少子高齢化により、地域間で人口バランスが崩れている

- ① 地域によって人口の増減に差があり、高齢化の進む地域や子どものいない地区がある一方で、人口増加地区もある。

■地域活動や行事の担い手・人材が不足

- ② 若年層の地域離れや高齢化により地域活動の参加者・担い手が不足し、青年団がなくなった地区もある。また、地域団体の横のつながりがない（自治会とPTA等との連携がない）。

■自治会への関心低下や高齢化等で活動に支障が生じている

- ③ 高齢化や新住民、若年層の自治会への関心低下により自治会運営に支障が出ている。個人情報保護で、入退去や電話番号等がわからないのも大きな要因になっている。

■新旧住民・世代間の交流が希薄化

- ④ 宅地開発が進み新しい世帯が増えてきているが、新旧住民のつながりが希薄である。また世代間のつながりもなくなってきている。

■世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足

- ⑤ 若年層を対象とした行事がない。祭りや行事があっても、地区外の人への参加が少ない（県外にもアピールが必要）。誰もが参加したいと思うような内容のイベントが必要ではないか。

■公園・道路整備や開発のバランスを考える等、生活環境の整備が必要

- ⑥ 子どもを自由に遊ばせる公園が少なく、人が集える大規模な公園がない。
⑦ 学区内に市街化区域と調整区域があり、開発のバランスが悪い。道路が狭いところがあり、交通渋滞の発生や、交通安全の確保が難しくなっている。

■妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分

- ⑧ 湧水・庄屋屋敷・旧野洲川跡など、『たからもの』が語り継がれていない。また、近江妙蓮や遺跡等のPRや説明看板が必要ではないか。学区だけでは数ある資源を活かしきれない。

■水資源・ホタル・桜などの自然保全が必要

- ⑨ 川戸や地区内の川、桜、ホタル等を復活・保護していく必要がある。

■水害対策等の防災の取り組みが不十分

- ⑩ 住宅開発等で田畑がなくなってきて、治水問題が多発している（床下浸水・田畑冠水）。
⑪ 若い人がおらず、住民のつながりが希薄になっているため、災害時の要援護者対策に問題が生じる。

■マナーが悪い、生活ルールの遵守ができていない

- ⑫ 小学生や中学生の道徳マナーの悪さが見られるが、指導方法が見つけにくい。
ごみ出しのルール違反や生活騒音問題も一部で見られる。

■職場が少ない・商店がない・後継者不足等、地域の活力が低下している

- ⑬ 学区内に職場が少なく、若者の職が見つからない。また、農業の後継者も不足している。

2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策	
<p>人口増減の地域差・少子高齢化により、地域間でバランスが崩れている</p>	高齡化64歳以上28%、みんなそろって高齡化している（河西ニュータウン）		
	高齡化率34.6%（布施野）		
	老齡化率が年2～3%で向上している		
	高齡化率27.5%、新しい人が入ってこない（中）		
	老人世帯が増加している		
	敬老会70歳以上が90人いる（高齡化率33.3%）（川中）		
	高齡者の増加		
	高齡化率40%で、自治会の行事運営に支障が出ている（河西ハイム）		
	自治会の高齡化が進んで自治会行事に支障がでてい→なり手がない。美化作業		
	高齡者を対象とする行事が多い（河西ハイム）		
	老人ホームが多く、高齡化が進んでいる		
	子どものいない地区有		
	小学生が2人（布施野）		
	若い夫婦が引越して来ない		
	子供の友達がいない		
	住民の高齡化（子供が少ない）（川中）		
高齡化地区、若年者地区			
人口の増加地区と減少している地区がある			
超高齡社会への対応			
老人クラブ（任意）→老人会対象に市の交付とかをする			
ニュータウン型は土地がない			
新旧住民の融和に支障			
高齡者は時間・お金がある			
農家・長男は地域に残るのが当たり前だった			

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>地域活動や行事の担い手・人材が不足</p>	男性の参加率低い	<p>○ その他行事の改革 ○ 負担が少ないように</p>
	行事に参加者が少ない	
	担い手不足	
	高齢化を見据えた行事を計画（河西ハイム）	
	住民の高齢化により行事のマンネリ化	
	高齢の1人暮らしも徐々に増えて、参加は難しい（行事・当番）	
	関東から引越してきたが、守山は住みよいため、誇りを持ってよいと思う	
	リーダー的存在がいらない	
	地元の行事、市の要望が多い	
	ボランティアは増やせない	
	社内の行事の維持（継続的な取り組みをすることが必要）	
	自治会が大きすぎて1人1人へのサービスが希薄になっている（播磨田）	
	自治会、まちづくり推進員などへの役員の成り手がなくなってきた（65歳定年で、引き継ぎができない）	
	運動会の内容、幼児と高齢者共通の内容について	
動ける人間に役回り（青年団、老人会など）が集中してしまう		
それぞれの団体（PTA等）が独立している→横のつながりが無い		
若い方の地域離れ		
荒身では青年団がなくなった		
若いお嫁さんは2世帯（3世帯）で住むことを嫌がる		

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>新旧住民・世代間の交流が希薄化</p>	<p>新住民との交流が希薄 新住民が多く（若い人が多い）自治会役員等を避ける人が多い 新旧世代間の交流具合に濃淡がある 旧住民と新住民とのコミュニケーションが取りにくい 旧住民の方はお年寄りの方が多い、役職、役員が少ない 新しい世帯が増えてきている（小島） 新住民とのつながりが少ない（小島） 宅地開発が進んできている（人口増加） 限られた人しか公民館に来ない 世代間のつながりが少ない（河西ハイム） 若年層が自治会活動に関心がない 自治会行事への参加が少ない お祭りだけは参加する 交流しているようには見えない ららぽーとでのTV鑑賞</p>	
<p>世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足</p>	<p>若年層（40歳代まで）を対象とした行事がない 自治会活動に子供達（小～高・大）の参画 高齢者向けの行事と同様に若年層向け行事が必要 県外から人が集まるアピールの仕方が悪い 祭り、行事はたくさんあるが町内だけで楽しんで思うように思う 会館でお年寄りや若いお母さんが連れてきた子供が交流しているが、これが続けていかないと離れてしまう 噂で交流の話が広まると人が集まってくる 地域での居場所がない 昭和30年の風景のDVDを流した。嫁いできた時の写真などを流す（中） ふるさとづくりで夏祭りは同窓会になる 駐車場の整備</p>	<p>○ 河西区民の集いのような大きなイベントを誰もが参加したいと思う内容を取り入れる（人を集める） ○ 若い人にも来てもらおう事業（川中クールシェア） ○ 公民館をおしやべり場に。男の人はお酒がないと来ない。</p>

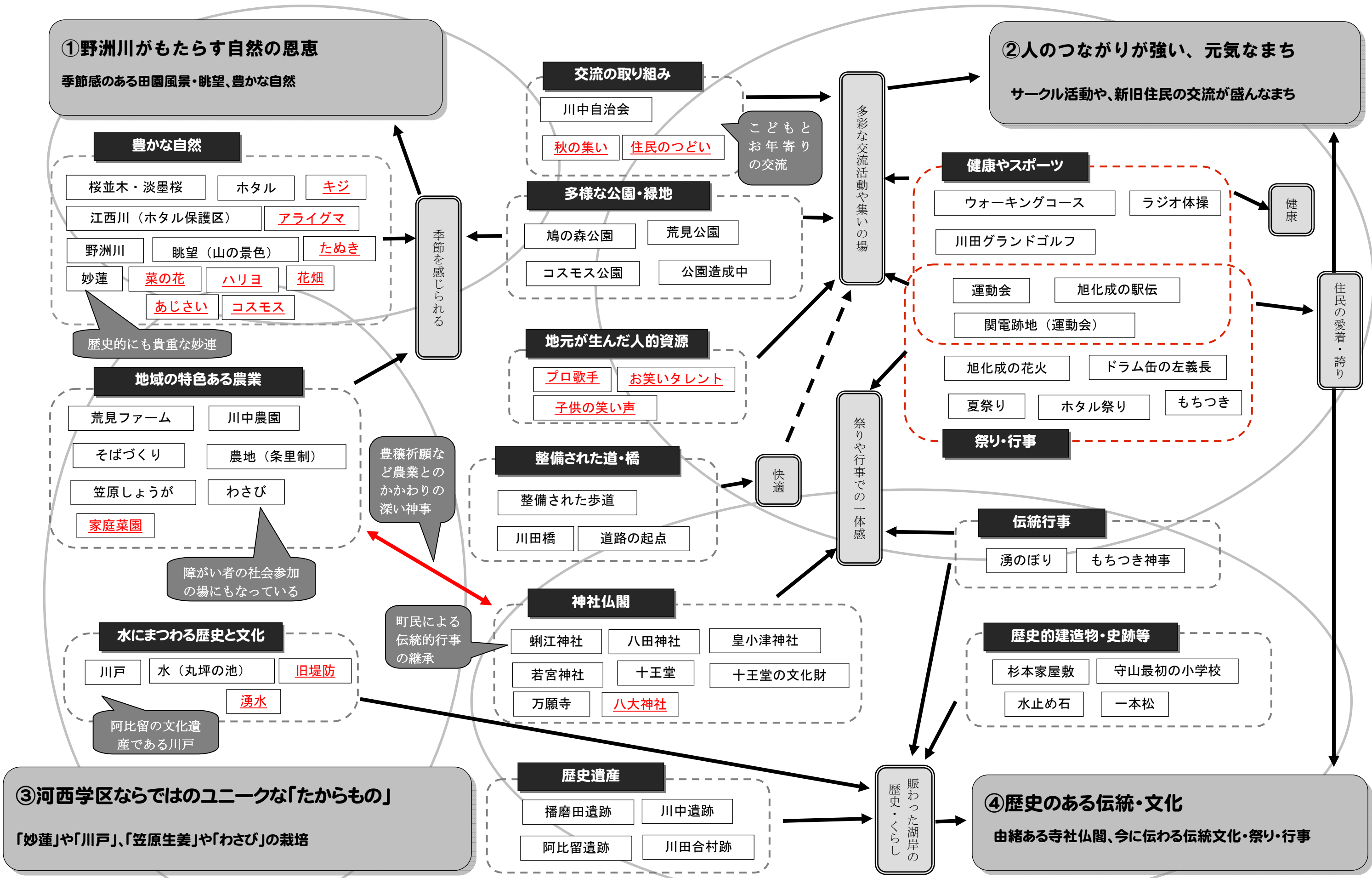
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
公園・道路整備 や開発のバラン スを考える等、 生活環境の整備 が必要	<p>人の集まらない公園！！</p> <p>道に集まる公園づくり</p> <p>公園を活用しにくい</p> <p>公園利用時に規制が多い（ボール遊び禁止）</p> <p>子供の健全育成</p> <p>子供を自由に遊ばせる公園が少ない</p> <p>8年前は子供さんが40名、現在は175名。</p> <p>大げさだがニューヨークの様なセントラルパークの様な大規模公園がほしい→色んな人が集まる（老人ホールの人、幼児と母親など）</p> <p>四年計画を！</p> <p>学区の中で市街化区域と調整区域とがあり学区全体としてはバランスが悪い</p> <p>開発の差が大き</p> <p>高齢化。市街地へのアクセス</p> <p>交通渋滞の課題</p> <p>幹線道路が不備</p> <p>新住民道路幅6m、旧住民は昔の道の幅2m。（学童）登校での道が曲がり曲がりのため危ない所が多い</p> <p>旧の道路が狭い中、車が増えて町内の交通安全が確保しにくくなっている</p> <p>道路幅（狭いところが多々ある）</p> <p>交通の不便さ、堅田から琵琶湖大橋の下を守山駅とつなぐ（人が集まる）</p> <p>お墓が近くにない</p>	<p>○ 河西中を桜に！川のそばに桜。各戸に桜。遊休地に桜を植える。</p> <p>○ 出来るところからまた家を建て直す場合など市として方向性を示す</p>

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分	近江妙蓮を国の天然記念物に指定 花は季節がある 喜多の桜 学区だけでは数ある資源を活かしきれない PR 不足 遺跡の説明看板が必要 旧野州川の跡が失われている 鳩の森のホタルの飼育がなくなって人が少なくなっている 湧水があったことを知っている人が少ない。 このままだと現状がスタンダードになる 自分の街を語れない。自分の街を知らない。 庄屋敷の柱が残っていたが住民はそのことを知らない	<input type="checkbox"/> 例えば福井県南越前町はすまつり6万5千人集客 <input type="checkbox"/> 遺跡のまちになる！ <input type="checkbox"/> 近江妙蓮を中心に全国的な運を集めて公園の整備 <input type="checkbox"/> 芦刈園（あじさい）とリンク <input type="checkbox"/> 一本松史跡公園の活用？ <input type="checkbox"/> 遺跡の所在のPRを活発に（内容のPRも）
水資源・ホタル・桜などの自然保全が必要	川の水が流れない時がある（せつかく稚魚が生息したのに死んでしまう） 河川の汚れ（川中） ホタルがもたらす自然→自然に増えているのでうまく続ける。必要以上に草刈などをしてはいけない。 川戸の水源、旭化成からの水量が？ 3本の川があり、全ての川で魚が採れる（川中） ホタルの復活、保護 淡墨桜・古木がいつまであるか？	<input type="checkbox"/> 魚釣りポイントとしての野州川の活性化

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策	
自治会への関心低下や高齢化等で、活動に支障が生じている	若年層が自治会活動に関心がない（布施野）	○ 自治会加入を守る市民となれる必要条件として市からの指導	
	河西学区は若い人が来ているところ、高齢化ばかりしているところと分かれている		
	高校から自治会に関わる仕組みや居場所が無い		
	新住民は若い会社勤めの方がかりで自治会の行事が難しい		
	自治会員以外のマンション所有者への自治会活動の徹底		
	新しい住民が自治会に加入しない		
	入退去情報を自治会長へ連絡（マンションも）		
	住宅地図の変更を速やかに自治会長へ連絡		
	加入しない人が増えれば活性化には逆行		
	自治会には強制力が無い		
	個人情報保護法の行き過ぎ		
	表札の無い家の解消		
	自治会名簿に電話番号の表示		
	アパート住民が自治会費を払わない。自治会費（中：2,000円、川中、小島など1,000円）		
自治会費を払わない家の解消			
自治会活動の衰退につながる			
高齢化・自治会運営に支障			

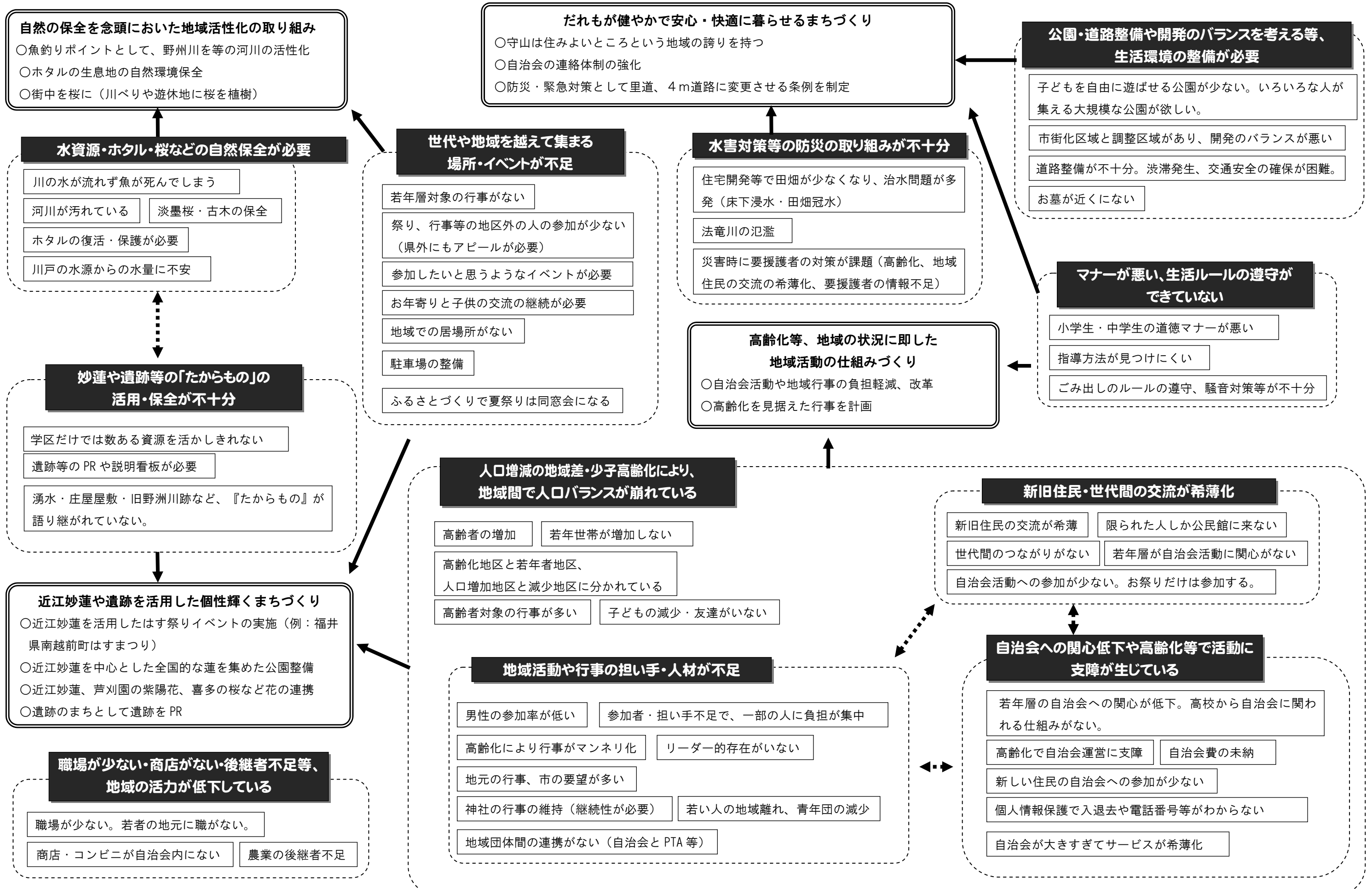
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
水害対策等の防 災の取り組みが 不十分	田・畑がなくなってきたり治水問題が多発している 床下浸水が発生 ゲリラ豪雨、田畑冠水 法竜川の氾濫！！ 新たな住宅開発が原因！ 若い人が昼も夜もない 災害時の要援護者対策一助けられないかもしれない	○ 防災・緊急対策として里道、4 m道路に変更させる 条例制定
マナーが悪い、 生活ルールの遵 守ができていな い	小学校・中学校の道徳マナーが悪い 指導方法が見つけにくい 早朝の雨戸の開け閉めは静かに気配り、気遣いの出来るまちに！ 瓶、缶類は前日の 15:00～20:00 の間に出すこと 早朝のゴミだけは禁止、騒音対策 職場が少ない（働くところが少ない）	
職場が少ない・ 商店がない・後継 者不足等、地域 の活力が低下し ている	若者の地元で職が無い 農業の後継者が不足 商店、コンビニが自治会内にはない（布施野）	

河西学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。赤字は第3回会議での追加・修正意見

河西学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回は河西学区を活性化する取り組みを考えます

第2回 学区の特徴とたからもの

特徴

野洲川がもたらす自然の恩恵

②人のつながりが強い、元気なまち

③河西学区ならではのユニークな「たからもの」

④歴史のある伝統・文化

たからもの

- 豊かな自然
 - ・桜並木・淡墨桜、ホタル、江西川、野洲川、妙蓮、眺望、キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、菜の花、あじさい、コスモス など
- 多様な公園・緑地
 - ・鳩の森公園、荒見公園、コスモス園
- 祭り・行事
 - ・運動会、夏祭り、旭化成の駅伝・花火、もちつき、ホタル祭り、ドラム缶の左義長 など
- 健康やスポーツ
 - ・ウォーキングコース、ラジオ体操、川田グランドゴルフ
- 交流の取り組み
 - ・川中自治会、秋の集い、住民のつどい
- 地域の特色のある農業
 - ・荒見ファーム、川中農園、そばづくり笠原しょうが、わさび、家庭菜園 など
- 水にまつわる歴史と文化
 - ・川戸、水(丸坪の池)、旧堤防、湧水
- 地元が生んだ人的資源
 - ・プロ歌手、お笑いタレント、子どもの笑い声
- 整備された道・橋
 - ・整備された歩道、道路の起点、川田橋
- 歴史遺産
 - ・播磨田遺跡、川中遺跡、阿比留遺跡、川田合村跡
- 神社仏閣
 - ・八田神社、蜷江神社、皇小津神社、若宮神社、十王堂、十王堂の文化財、万願寺、八大神社
- 伝統行事
 - ・湧のぼり、もちつき神事
- 歴史的建造物・史跡等
 - ・杉本家屋敷、守山最初の小学校、水止め石、一本松

第4回 河西学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
祭り、行事 自治会など

【活性化の取り組み】
学区全体で工夫し、より多くの人が参画できる仕組みをつくる

- ・イベントカレンダーの作成
- ・自治会や地域団体等の連携 など

【活用するたからもの】
近江妙蓮

【活性化の取り組み】
蓮で有名なまちと提携し、交流を活性化させる

- ・提携都市の蓮めぐり交流ツアー
- ・蓮にまつわる特産品の開発 など

第3回会議ではすでにこんなアイデアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

＜第3回会議で出して頂いた取り組み＞

- ・自治会活動や地域行事の負担軽減、改革
- ・高齡化を見据えた行事の計画
- ・守山は住みよいところという地域への誇りを醸成
- ・防災・緊急対策として里道の4m道路整備
- ・遺跡のまちとして遺跡をPR
- ・近江妙蓮を活用したはす祭り
- ・近江妙蓮、芦刈園の紫陽花、喜多の桜など花の連携
- ・魚釣りポイントとして、野洲川等を活性化
- ・ホタルの生息地の自然環境保全 など
- ・街中を桜に(川ベリや遊休地に桜を植樹)

第3回 学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

- 高齡化等、地域の状況に即した地域活動の仕組みづくり
- 近江妙蓮や遺跡を活用した個性輝くまちづくり
- 自然の保全を念頭に置いた地域活性化の取り組み
- 誰もが健やかで安心・快適に暮らせるまちづくり

課題

- 人口増減の地域差・少子高齡化により、地域間でバランスが崩れている
 - ・高齡化地区と若年者地区、人口増加地区と減少地区に分かれている
 - ・子どもの減少・友達がいない
- 地域活動や行事の担い手・人材が不足
 - ・男性の参加率が低い
 - ・若い人の地域離れ・青年団の減少
 - ・地域団体間の連携がない
- 新旧住民・世代間の交流が希薄化
 - ・若年層の自治会活動への関心低下
 - ・公民館や行事への参加者が少ない
- 自治会への関心低下や高齡化等で活動に支障
 - ・新しい住民の自治会への参加が少ない
 - ・高齡化で自治会運営に支障
- マナーが悪い、生活ルールの遵守ができていない
 - ・小中学生の道徳マナーが悪い
 - ・ごみ出しのルールの遵守、騒音対策等
- 世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足
 - ・若年層や外部者を対象とした行事がない
- 妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分
 - ・妙蓮、芦刈園の紫陽花、喜多の桜、一本松史跡公園遺跡等の活用・PRが必要
 - ・『たからもの』の伝承が不十分
- 水資源・ホタル・桜などの自然保全が必要
 - ・川の水が流れない・汚れている
 - ・ホタル、淡墨桜・古木の保全が必要
- 公園・道路整備や開発のバランスを考える等、生活環境の整備が必要
 - ・様々なニーズに対応した公園の整備
 - ・市街化区域と調整区域での開発バランスが悪い
 - ・道路整備が不十分
- 水害対策等の防災の取り組みが不十分
 - ・住宅開発等による治水問題、法竜川氾濫
 - ・災害時に要援護者の対策が課題
- 職場が少ない・商店がない・後継者不足等、地域の活力が低下している
 - ・若者の地元で職がない
 - ・農業の後継者不足

(注) 第2,3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋